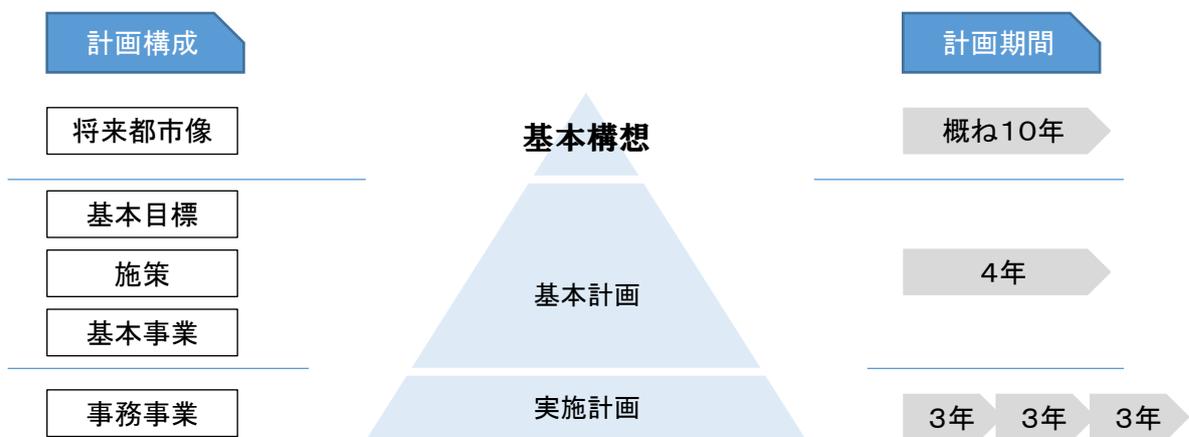


第2次朝倉市総合計画 基本構想（案）について

1 基本構想とは

長期的な視点に立ち、まちづくりの基本理念・将来都市像や市政運営の方向性等を明らかにしたものです。

第2次朝倉市総合計画の計画構成において、基本構想では、「朝倉市が目指すまちの姿（将来都市像）」を定め、その期間を概ね10年程度とします。（市を取り巻く環境に大きな変化がない限りは、方向性及び理念を継承）（下図参照）



2 基本構想（案）

別紙1（P2）のとおり

3 参考資料

別紙2（P3-P5）のとおり

第2次朝倉市総合計画 基本構想(案)

1 目指すまちの姿(将来都市像)

人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉

朝倉市にとって、水は貴重な地域資源であり、市民の暮らしに多大な恩恵をもたらす存在です。また、朝倉市の山間部を源流とする水の流れは、筑後川、そして有明海へと流れ、市内だけにとどまらず、流域に豊かな恵みをもたらす、多くの人々の暮らしに潤いをもたらしています。

一方で近年の豪雨災害等、時として水は脅威となり、大きな被害をもたらすことがありますが、古くから、豊かな自然とそこに暮らす人々によって育まれた豊富で良質な水を活かし、大切にし、ときには闘いながら、水とともに朝倉市は発展してきました。

朝倉市で育まれた水とともに、恵まれた豊かな自然環境、美しい景観、地域に根づく多種多様な歴史・文化といった朝倉市の魅力を磨き、組み合わせ、それらがより一層輝くまちの姿に朝倉市に住む人・訪れる人が心地良さや安らぎを感じ、住み続けたい、住んでみたいと思う朝倉市を目指します。

あわせて、本市が甚大な被害を受けた「平成29年7月九州北部豪雨災害」からの復旧・復興を経て、被災前よりもひかり輝く朝倉市を目指すという思いも込め、「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」を目指すまちの姿とします。

※ 織りなす: 複数の細かい要素を組み合わせることによって、優れた全体像を成す様。

※ 光る(ひか・る): 光を放つ。美しく輝く。一段とすぐれて目立つ。明るく色あざやかに輝く。まばゆいほど美しく見える。

【参考1】 現行計画（第1次朝倉市総合計画）の都市像

計画名	都市像
第1次朝倉市総合計画	水を育み 街を潤す 健康文化都市の創造 ～「共生」と「交流」を創る「自立」と「責任」のまち～

【参考2】 市の将来像、イメージ等に関する住民の意見

(1) 市民アンケート

Q 「朝倉市」が将来どのような所であってほしいか

- ① 水や緑など、自然環境に恵まれたまち (56.8%)
- ② 保健・医療・介護など福祉が充実したまち (46.1%)
- ③ 災害に強く安心安全に暮らせるまち (43.2%)

Q 「朝倉市」が住みやすいと思う理由は何ですか

- ① 緑や自然環境が豊かだから (54.3%)
- ① 買い物が便利だから (54.3%)
- ③ 近所付き合いや人間関係が良いから (45.2%)

Q 「朝倉市」のイメージにあてはまる色は何色だと思いますか

- ① 緑 (62.2%)
- ② 水色 (10.7%)
- ③ 青 (6.4%)

(2) 市民アンケート（自由意見） ※同類の意見はまとめています。

- ・若い人・子育て世代が住みやすいまち
- ・朝倉全体が元気でワクワクするような市
- ・若い子が出たくないと思えるような、まちづくり
- ・ターゲットを40代以上（子育てほぼ終わった人）にしたまちづくり
- ・高齢者や子どもの住みやすいまちづくり
- ・若い人が市外へ転出せず、定住できるまち
- ・教育の朝倉市
- ・豊かな自然を活かした教育都市づくり
- ・若い人たちが交通の便は不便でも住みたいと思えるまちづくり
- ・子どもたちが安心して生活できる市
- ・人口増加、集計するような都市づくり・活気あるまち
- ・自然豊かな美しい朝倉

- ・ 良き昭和に戻ってのまちづくり
- ・ 自然豊かで、古き良き暮らしを残しながら若い人たちが夢をもって新しい生活、商業活動にチャレンジできるような、豊かなまち
- ・ 高齢者が過ごしやすいまち
- ・ 自然豊かで温かいまち

(3) 高校生ワークショップ ※詳細は、別添資料参照。

【朝倉市の強み】

- ・ 自然が豊か。
- ・ 星がきれい。
- ・ 景色がきれいなところが多い。
- ・ 果物や野菜などおいしい食べ物が多い。
- ・ 子育てがしやすい。
- ・ インターチェンジが3つあるなど、交通機関が充実している。
- ・ 人が優しい。
- ・ 土地が多くある。
- ・ 高齢者が元気。

【朝倉市の弱み】

- ・ 商店街の活気がない。
- ・ 大学がない。
- ・ 企業が少なく、就職先が少ない。
- ・ 子どもの遊び場が少ない。
- ・ 交通が不便。
- ・ 土地を有効活用できていない。
- ・ 遊ぶところが少ない。
- ・ いいところは多いが、PR 不足で認知度が低い。
- ・ 買い物をするところが少ない。
- ・ 観光をする場所やホテルが少ない。

【10年後の朝倉市の姿】

- ・ 商店街を復活させ、もう一度にぎやかな朝倉市へ。
- ・ 自然の景観を壊さず、朝倉らしい自然を生かした施設をつくる（若者やお年寄りなど対象者となる年齢層を明確にした施設）。
- ・ 商店街の近くに高校があることを生かし、高校生などが立ち寄りやすいお店にする。

- ・自然が豊かであることを生かし、テーマパークやアスレチック、田舎体験を行なうことができるようにする。
- ・空き家を有効活用する。
- ・山、川からとれた食べもので、安全で健康な飲食店をつくる。
- ・遊ぶところはビルなどを建てるのではなく、木材など自然のもので建物をつくる。
- ・大人も子どもも楽しむことのできる自然を生かしたテーマパークをつくる。
- ・星を見ることのできる、自然を生かした場所を、テレビやSNSなどを使ってPRする。
- ・農家になりたい人を対象に、空き家を利用した農業体験を行なう。
- ・朝倉の観光地（秋月城など）をめぐるツアーをつくる。
- ・朝倉市の自然を生かして「朝倉といえば〇〇」というものをつくる。
- ・土地を活用してイベントを行なう。
- ・少子高齢化対策として、子育てがしやすいまちにし、他地方から人を呼ぶ。
- ・田舎を嘆くのではなく、田舎を生かす！